

おんな相撲大会

5月1日に、上齋原神社春季恒例大祭奉納おんな相撲大会が開催されました。おんな相撲としては平成11年から始まったこの大会には、今年も地元からの参加者をはじめ、上齋原中学校の生徒や他県からの参加者など、44名の選手が出場しました。

力と技のぶつかり合いや、ユニークな衣装での競演が見られる中、北海道から参加されたコケ山関が優勝をおさめ、見事二連覇の快挙をなしとげました。

5月とは思えないほどの陽気の中、約800名の来場者は、選手全員に熱心な声援を送っていました。



布施神社「お田植祭」

5月5日に富地域の布施神社において、お田植祭が開催されました。

このお田植祭は、五穀豊穡を祈る神事で、祭りの一番の見どころは、殿様と福太郎の滑稽なやりとり。殿様が笑うとその年の稲作は不作になると言われていますが、今年も殿様は笑うことなく、無事に終えることができました。

この日は晴天にも恵まれ、会場は訪れた多くの観客の拍手と笑いに暖かく包まれていました。



スポーツ選手ふれあい指導事業

5月11日に、香々美小学校グラウンドでスポーツ選手ふれあい指導事業陸上教室が行われ、5・6年生の児童33名が参加しました。

今回のコーチは邑木隆二（むらきりゅうじ）さん。全日本選手権やユニバーシアード競技大会、世界陸上選手権大会などで選手として活躍され、現在は駿河台大学陸上競技部監督を務めておられます。

「現役の選手は、一回のまばたきをするぐらいの時間を縮めるために一所懸命練習します。どんなことでもいいから、目標や夢を持って努力してください。」という言葉の後、ウォームアップを兼ねてグラウンドを走ったり、腕ふりや足の上げ方など基本的な事を教わっていました。

そのあとコーチと一緒に走った子どもたちは、あまりの速さに驚きの声をあげながらも、がんばってついて行こうと力いっぱい走っていました。



子育てふれあいサロン

毎週水曜日に開催されている子育てふれあいサロンが、5月17日から旧国体推進室事務局に場所を変えて始まりました。この日は月に一回のイベントの日で、手芸教室が開かれました。できあがったふくろうの人形を、子どもたちは大切そうに握りしめていました。

